



## 平成 23 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 1 月 28 日

上場会社名 株式会社 関西アーバン銀行 上場取引所 東・大  
 コード番号 8545 URL http://www.kansaiurban.co.jp  
 代表者 (役職名) 頭取 (氏名) 北 幸二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務企画部長 (氏名) 正岡 重哉 (TEL) 06(6281)7000  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 1 月 28 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第 1 位未満は切捨て)

### 1. 平成 23 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 3 月期第 3 四半期	88,231	17.8	9,228	—	7,674	306.4
22 年 3 月期第 3 四半期	74,891	△7.6	△7,689	—	1,888	△29.7

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 3 月期第 3 四半期	10.43	7.97
22 年 3 月期第 3 四半期	2.97	2.97

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 3 月期第 3 四半期	4,254,179	147,797	2.7	112.84
22 年 3 月期	4,348,213	142,376	2.6	103.63

(参考) 自己資本 23 年 3 月期第 3 四半期 118,478 百万円 22 年 3 月期 113,400 百万円

(注 1) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除した比率であり、「銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成 18 年金融庁告示第 19 号)」に基づいて算出する連結自己資本比率ではありません。

(注 2) 「銀行法第 14 条の 2 の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成 18 年金融庁告示第 19 号)」に基づいて算出する連結自己資本比率(国内基準)は 9.77%です。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 3 月期	—	0.00	—	3.00	3.00
23 年 3 月期	—	0.00	—	—	—
23 年 3 月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注 1) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注 2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況を記載しております。当行が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況は、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

### 3. 平成 23 年 3 月期の連結業績予想 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	115,000	15.9	5,000	—	2,500	—	1.23	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無  
新規 一社 (社名 — )、除外 一社 (社名 — )

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

23年3月期第3四半期	737,918,913株	22年3月期	737,918,913株
23年3月期第3四半期	2,801,592株	22年3月期	2,769,238株
23年3月期第3四半期	735,134,599株	22年3月期第3四半期	633,682,163株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、予想対比変化し得ることにご留意ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式とは権利関係の異なる種類株式に係る1株当たりの配当金の内訳は、以下のとおりです。

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
第一回甲種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	33.28	33.28
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				31.50	31.50
第二回甲種優先株式	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	33.28	33.28
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期 (予想)				31.50	31.50

(注) 第一回甲種優先株式及び第二回甲種優先株式の配当金は、各々の発行価格に配当率(6ヵ月 円 LIBOR+3.50%)を乗じて算出することとなり、上記1株当たり配当金は配当金額を1株当たりの金額に引き直したものであります。

【参考】指標算式

○1株当たり予想当期純利益

予想当期純利益 — 予想優先株式配当金総額

---

予想期中平均普通株式数 (除く自己株式)

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
平成23年3月期「第3四半期決算短信」補足資料 .....	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

## ①単体

単体の経営成績は、貸出金利息が増加したこと等により、資金利益が前年同期間比 108 億円増加、投資信託・年金保険の販売額増加等を要因に役務取引等利益が前年同期間比 14 億 10 百万円増加したこと等により、国債等債券損益を除いた業務粗利益は前年同期間比 125 億 40 百万円増加の 529 億 70 百万円となりました。また、実質業純（一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前）は前年同期間比 47 億 90 百万円増加の 239 億 53 百万円となりました。実質業純（一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前）から国債等債券損益を除いたコア業務純益は前年同期間比 41 億 51 百万円増加の 202 億 80 百万円となりました。

また、一般貸倒引当金繰入額を含む与信関係費用は、前年同期間比 104 億 24 百万円減少の 139 億 91 百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期間比 149 億 42 百万円改善し 77 億 20 百万円となりました。四半期純利益は前年度に本店売却等に伴う特別損益 94 億 51 百万円の利益を計上しておりましたため、前年同期間比では 44 億 51 百万円増加の 72 億 88 百万円となりました。

## 【単体】

(単位：百万円)

	平成 23 年 3 月期		平成 22 年 3 月期	(参考) 平成 22 年 3 月期
	第 3 四半期	前年同四半期比	第 3 四半期	
業務粗利益 (除く 国債等債券損益)	56,643 ( 52,970)	13,179 ( 12,540)	43,463 ( 40,429)	57,439 ( 54,798)
資金利益	51,348	10,800	40,548	54,891
役務取引等利益	631	1,410	△779	△1,002
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	4,663 ( 3,672)	969 ( 639)	3,694 ( 3,033)	3,550 ( 2,640)
経費(除く臨時処理分・のれん償却)	△32,689	△8,389	△24,300	△33,678
実質業純 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	23,953	4,790	19,163	23,761
コア業純(除く国債等債券損益)	20,280	4,151	16,129	21,120
のれん償却額	△552	△552	-	△61
一般貸倒引当金繰入額①	△1,053	△924	△128	△336
業務純益	22,348	3,313	19,034	23,363
不良債権処理額②	△12,938	11,349	△24,288	△59,434
経常利益(△は経常損失)	7,720	14,942	△7,222	△37,779
特別損益	210	△9,241	9,451	9,028
四半期(当期)純利益 (△は当期純損失)	7,288	4,451	2,837	△21,687
与信関係費用(① + ②)	△13,991	10,424	△24,416	△59,771

(注) 1. 平成 22 年 3 月 1 日に株式会社関西アーバン銀行は、株式会社びわこ銀行と合併いたしました。平成 22 年 3 月期第 3 四半期の株式会社関西アーバン銀行と株式会社びわこ銀行の単純合算計数との比較を、『平成 23 年 3 月期「第 3 四半期決算短信」補足資料』に記載しております。

2. 損失又は減益には△を付しております。

## ②連結

連結の経営成績は、主に単体の経営成績を反映して連結粗利益が前年同期間比 137 億 13 百万円増加の 634 億 87 百万円となりました。また、与信関係費用が前年同期間比 124 億 7 百万円減少の 168 億 96 百万円となったこと等により、経常利益は前年同期間比 169 億 18 百万円改善し 92 億 28 百万円となりました。四半期純利益は前年度に本店売却等に伴う特別損益 98 億 85 百万円の利益を計上してありましたため、前年同期間比では 57 億 86 百万円増加の 76 億 74 百万円となりました。

## 【連結】

(単位：百万円)

	平成 23 年 3 月期		平成 22 年 3 月期	(参考) 平成 22 年 3 月期
	第 3 四半期	前年同四半期比	第 3 四半期	
連結粗利益	63,487	13,713	49,774	65,766
営業経費	△36,116	△9,497	△26,619	△36,926
与信関係費用	△16,896	12,407	△29,303	△67,168
経常利益(△は経常損失)	9,228	16,918	△7,689	△39,290
特別損益	330	△9,555	9,885	9,462
四半期(当期)純利益 (△は当期純損失)	7,674	5,786	1,888	△24,125

(注) 1. 平成 22 年 3 月 1 日に株式会社関西アーバン銀行は、株式会社びわこ銀行と合併いたしました。平成 22 年 3 月期第 3 四半期の株式会社関西アーバン銀行と株式会社びわこ銀行の単純合算計数との比較を、『平成 23 年 3 月期「第 3 四半期決算短信」補足資料』に記載しております。

2. 損失又は減益には△を付しております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①総資産額、純資産額

当第 3 四半期末における総資産額は、前年度末比 940 億円減少し 4 兆 2,541 億円、純資産額は前年度末比 54 億円増加し 1,477 億円となりました。

主要な勘定としましては、預金が前年度末比 1,102 億円減少の 3 兆 7,388 億円、貸出金が前年度末比 108 億円増加の 3 兆 5,077 億円となりました。

## ②自己資本比率(国内基準)

連結自己資本比率は 9.77%(前年度末比+0.69%)、単体自己資本比率は 9.92%(前年度末比+0.63%)となりました。

## ③金融再生法開示債権(単体)

金融再生法開示債権残高(単体)は、前年度末比 375 億円減少の 1,142 億円となり、開示債権比率は 3.22%(前年度末比△1.07%)となりました。

## ④有価証券の評価損益

その他有価証券評価損益は、前年度末比 15 億円改善の△26 億円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第 3 四半期の経常利益及び四半期純利益は、平成 22 年 11 月 12 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期の業績予想を上回っておりますが、依然として今後の景気等、不透明な要因が多くあることから、現時点において業績予想の見直しは行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

#### ②貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、中間連結会計期間末の予想損失率を適用して計上しております。

#### ③繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について中間連結会計期間末から大幅な変動がないと認められるため、当該中間連結会計期間末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ①資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、経常利益は8百万円、税金等調整前四半期純利益は171百万円、それぞれ減少しております。

#### ②四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	164,425	268,884
コールローン及び買入手形	3,478	608
買入金銭債権	7	15
有価証券	454,435	450,499
貸出金	3,507,771	3,496,904
外国為替	4,064	7,140
その他資産	53,225	56,199
有形固定資産	31,723	32,522
無形固定資産	17,299	18,488
繰延税金資産	49,052	49,209
支払承諾見返	15,352	16,553
貸倒引当金	△46,656	△48,811
資産の部合計	4,254,179	4,348,213
<b>負債の部</b>		
預金	3,738,832	3,849,041
譲渡性預金	171,250	168,450
コールマネー及び売渡手形	107	170
借入金	54,222	51,830
外国為替	15	10
社債	76,108	66,242
その他負債	41,930	42,361
賞与引当金	938	1,982
退職給付引当金	4,953	6,255
役員退職慰労引当金	419	510
睡眠預金払戻損失引当金	456	383
偶発損失引当金	1,180	1,430
再評価に係る繰延税金負債	613	614
支払承諾	15,352	16,553
負債の部合計	4,106,382	4,205,837
<b>純資産の部</b>		
資本金	47,039	47,039
資本剰余金	66,360	66,875
利益剰余金	7,386	3,087
自己株式	△586	△582
株主資本合計	120,200	116,420
その他有価証券評価差額金	△2,649	△4,197
繰延ヘッジ損益	76	324
土地再評価差額金	851	851
評価・換算差額等合計	△1,721	△3,020
新株予約権	89	81
少数株主持分	29,228	28,894
純資産の部合計	147,797	142,376
負債及び純資産の部合計	4,254,179	4,348,213



(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
経常収益	74,891	88,231
資金運用収益	58,478	66,442
(うち貸出金利息)	53,182	61,268
(うち有価証券利息配当金)	3,528	3,244
役務取引等収益	6,677	10,012
その他業務収益	9,551	11,065
その他経常収益	183	711
経常費用	82,581	79,002
資金調達費用	15,428	12,876
(うち預金利息)	12,824	9,854
役務取引等費用	4,170	5,037
その他業務費用	5,334	6,118
営業経費	26,619	36,116
その他経常費用	31,027	18,853
経常利益又は経常損失(△)	△7,689	9,228
特別利益	9,982	772
固定資産処分益	9,979	—
償却債権取立益	2	10
退職給付制度改定益	—	761
特別損失	96	442
固定資産処分損	6	17
減損損失	2	1
その他の特別損失	88	423
税金等調整前四半期純利益	2,195	9,558
法人税、住民税及び事業税	3,675	449
法人税等調整額	△4,451	334
法人税等合計	△775	783
少数株主損益調整前四半期純利益		8,775
少数株主利益	1,083	1,100
四半期純利益	1,888	7,674

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,195	9,558
減価償却費	2,873	2,926
減損損失	2	1
のれん償却額	—	552
貸倒引当金の増減(△)	2,787	△2,154
賞与引当金の増減額(△は減少)	△942	△1,044
退職給付引当金の増減額(△は減少)	161	△1,301
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△90
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	147	73
偶発損失引当金の増減(△)	191	△249
資金運用収益	△58,478	△66,442
資金調達費用	15,428	12,876
有価証券関係損益(△)	△2,214	△1,426
為替差損益(△は益)	△0	0
固定資産処分損益(△は益)	△9,973	17
貸出金の純増(△)減	△4,402	△10,867
預金の純増減(△)	148,151	△110,209
譲渡性預金の純増減(△)	△128,330	2,800
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	△61,119	2,309
有利息預け金の純増(△)減	9,859	△1,880
コールローン等の純増(△)減	2,796	△2,861
コールマネー等の純増減(△)	△20,046	△62
外国為替(資産)の純増(△)減	△843	3,076
外国為替(負債)の純増減(△)	△16	4
資金運用による収入	57,056	64,854
資金調達による支出	△15,465	△14,845
その他	1,865	4,574
小計	△58,314	△109,809
法人税等の支払額	△1,666	△716
法人税等の還付額	—	1,896
営業活動によるキャッシュ・フロー	△59,980	△108,629

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△646,195	△469,050
有価証券の売却による収入	621,439	441,663
有価証券の償還による収入	53,733	26,414
有形固定資産の取得による支出	△938	△1,586
有形固定資産の売却による収入	24,450	34
無形固定資産の取得による支出	△385	△353
無形固定資産の売却による収入	19	—
その他	△1,489	△117
投資活動によるキャッシュ・フロー	50,632	△2,994
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
劣後特約付社債の発行による収入	—	9,910
配当金の支払額	△1,900	△3,889
少数株主への配当金の支払額	△544	△730
自己株式の取得による支出	△0	△5
自己株式の処分による収入	5	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,440	5,286
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△11,787	△106,338
現金及び現金同等物の期首残高	192,987	262,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	181,199	156,106

## (4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	銀行業 (百万円)	リース業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益	68,924	5,884	1,809	76,617	(1,726)	74,891
経常利益 (△は経常損失)	△9,035	180	1,163	△7,691	1	△7,689

(注)1. 事業区分は内部管理上採用している区分によっております。

## 2. 各事業の主な内容

(1) 銀行業……………銀行業

(2) リース業……………リース業

(3) その他事業……………クレジットカード業、金融業

3. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益(又は経常損失)を記載しております。

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

全セグメントの経常収益の合計額に占める本邦の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

## 【国際業務経常収益】

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

## 1 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当行の経営事項及び業務執行に関する最高意思決定機関である経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当行グループは、当行に経営管理部門を置き、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスの提供を事業活動として展開しております。なお、「銀行業」、「リース業」、「その他事業」を報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出金業務、信用保証業務、為替業務を中心とした銀行業務を行っております。「リース業」は、リース業務を行っております。「その他事業」は、クレジットカード業務等「銀行業」、「リース業」以外の金融サービス業務を行っております。

## 2 報告セグメントごとの利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位：百万円)

	銀行業	リース業	その他事業	合計
業務粗利益 ①	60,630	1,101	2,126	63,858
経費 ②	33,944	689	848	35,482
与信関係費用 ③	16,977	83	85	17,146
セグメント利益 ①-②-③	9,708	328	1,192	11,229

## 3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
セグメント利益	11,229
セグメント間取引消去(△)	△30
株式等損(△)益	△950
その他	△1,019
四半期連結損益計算書の経常利益	9,228

(注)1. 株式等損益=株式等売却益-株式等売却損-株式等償却

2. その他には、株式会社びわこ銀行との合併により生じたのれんの償却額 △552 百万円が含まれております。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

## 平成23年3月期「第3四半期決算短信」補足資料

## 【目次】

1. 損益状況	【連結】	.....	12 ページ
	【単体】	.....	13 ページ
2. 自己資本比率（国内基準）	【連結】	【単体】	..... 14 ページ
3. 金融再生法開示債権	【単体】	.....	14 ページ
4. 有価証券の評価損益	【連結】	【単体】	..... 15 ページ
業績予想計数	【連結】	【単体】	..... 16 ページ
（ご参考）業容推移	【単体】	.....	17 ページ

（注）以下に記載する金額は金額単位未満を切り捨てて表示しております。  
また、金額が損失又は減益には△を付しております。

（決算計数と合算計数について）

平成22年3月1日に株式会社関西アーバン銀行は、株式会社びわこ銀行と合併いたしました。そのため、『平成23年3月期「第3四半期決算短信」補足資料』においては、前年同四半期との比較にあたり、以下の計数を用いております。

《損益》

○平成22年3月期第3四半期損益

【決算】＝（関西アーバン銀行22年3月期第3四半期損益）

【単純合算】＝（関西アーバン銀行22年3月期第3四半期損益）

＋（びわこ銀行22年3月期第3四半期損益）

《残高》

○平成21年12月末残高

【決算】＝（関西アーバン銀行21年12月末残高）

【単純合算】＝（関西アーバン銀行21年12月末残高）＋（びわこ銀行21年12月末残高）

○平成21年3月末残高

【単純合算】＝（関西アーバン銀行21年3月末残高）＋（びわこ銀行21年3月末残高）

## 1. 損益状況

【連結】

(金額単位：百万円)

		平成23年3月期 第3四半期	前年同四半期比		平成22年3月期 第3四半期 [決算]	平成22年3月期 第3四半期 [単純合算]
			[決算]比	[単純合算]比		
<b>連 結 粗 利 益</b>	1	<b>63,487</b>	<b>13,713</b>	<b>765</b>	<b>49,774</b>	<b>62,721</b>
資 金 利 益	2	53,565	10,515	△1,179	43,049	54,745
役 務 取 引 等 利 益	3	4,975	2,468	1,559	2,506	3,415
そ の 他 業 務 利 益	4	4,946	729	386	4,217	4,560
営 業 経 費	5	△36,116	△9,497	650	△26,619	△36,767
与 信 関 係 費 用	6	△16,896	12,407	13,958	△29,303	△30,854
貸 出 金 償 却	7	△1,995	△415	△411	△1,579	△1,584
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	8	△11,820	12,400	13,639	△24,221	△25,460
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	9	△1,787	△607	△420	△1,179	△1,366
そ の 他	10	△1,292	1,030	1,150	△2,323	△2,443
株 式 等 関 係 損 益	11	△950	50	△282	△1,000	△667
そ の 他	12	△295	244	△865	△540	569
<b>経常利益（△は経常損失）</b>	13	<b>9,228</b>	<b>16,918</b>	<b>14,226</b>	<b>△7,689</b>	<b>△4,997</b>
特 別 損 益	14	330	△9,555	△9,560	9,885	9,890
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	15	9,558	7,363	4,666	2,195	4,892
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	16	△449	3,225	3,464	△3,675	△3,913
法 人 税 等 調 整 額	17	△334	△4,785	△4,729	4,451	4,394
少 数 株 主 損 益 調 整 前 四 半 期 純 利 益	18	8,775	5,803	3,401	2,971	5,373
少 数 株 主 利 益	19	△1,100	△17	45	△1,083	△1,146
<b>四 半 期 純 利 益</b>	20	<b>7,674</b>	<b>5,786</b>	<b>3,446</b>	<b>1,888</b>	<b>4,227</b>
<b>与 信 関 係 費 用（6）</b>	21	<b>△16,896</b>	<b>12,407</b>	<b>13,958</b>	<b>△29,303</b>	<b>△30,854</b>
(連結対象会社数)						
連 結 子 会 社 数	22	12	5	-	7	12

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

【単体】

(金額単位：百万円)

		平成23年3月期 第3四半期	前年同四半期比		平成22年3月期 第3四半期 [決算]	平成22年3月期 第3四半期 [単純合算]
			[決算]比	[単純合算]比		
業 務 粗 利 益	1	56,643	13,179	122	43,463	56,521
( 除 く 国 債 等 債 券 損 益 )	2	( 52,970)	( 12,540)	( △182)	( 40,429)	( 53,153)
資 金 利 益	3	51,348	10,800	△965	40,548	52,313
役 務 取 引 等 利 益	4	631	1,410	461	△779	169
そ の 他 業 務 利 益	5	4,663	969	625	3,694	4,037
( うち 国 債 等 債 券 損 益 )	6	( 3,672)	( 639)	( 304)	( 3,033)	( 3,367)
経 費 ( 除 く 臨 時 処 理 分 )	7	△32,689	△8,389	1,822	△24,300	△34,511
人 件 費	8	△16,453	△4,629	775	△11,823	△17,228
物 件 費	9	△14,684	△3,367	943	△11,317	△15,627
税 金	10	△1,552	△392	103	△1,159	△1,655
実 質 業 務 純 益 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	11	23,953	4,790	1,944	19,163	22,009
コ ア 業 務 純 益 ( 除 く 国 債 等 債 券 損 益 )	12	20,280	4,151	1,639	16,129	18,641
の れ ん 償 却 額	13	△552	△552	△552	—	—
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	14	△1,053	△924	△811	△128	△241
業 務 純 益	15	22,348	3,313	580	19,034	21,767
臨 時 損 益 計	16	△14,627	11,628	12,107	△26,256	△26,735
不 良 債 権 処 理 額	17	△12,938	11,349	12,428	△24,288	△25,367
貸 出 金 償 却	18	△1,991	△476	△476	△1,515	△1,515
個 別 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	19	△9,884	11,079	12,158	△20,963	△22,042
延 滞 債 権 売 却 損	20	—	113	113	△113	△113
偶 発 損 失 引 当 金 繰 入 額	21	249	441	441	△191	△191
保 証 協 会 宛 負 担 金	22	△1,312	191	191	△1,503	△1,503
株 式 等 関 係 損 益	23	△950	50	△282	△1,000	△667
そ の 他 臨 時 損 益	24	△738	229	△37	△968	△700
経 常 利 益 ( △ は 経 常 損 失 )	25	7,720	14,942	12,688	△7,222	△4,967
特 別 損 益	26	210	△9,241	△9,245	9,451	9,455
うち 固 定 資 産 処 分 損 益	27	△20	△9,561	△9,549	9,541	9,528
うち 減 損 損 失	28	△1	0	0	△2	△2
税 引 前 四 半 期 純 利 益	29	7,930	5,701	3,442	2,229	4,487
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	30	25	3,235	3,257	△3,210	△3,231
法 人 税 等 調 整 額	31	△667	△4,485	△4,484	3,818	3,817
四 半 期 純 利 益	32	7,288	4,451	2,215	2,837	5,073
与 信 関 係 費 用 ( 14+17 )	33	△13,991	10,424	11,616	△24,416	△25,608



## 2. 自己資本比率 (国内基準)

リスク・アセット等については、信用リスク・アセット額は標準的手法を、オペレーショナルリスク・アセット額は先進的計測手法を採用しております。

【連結】

(金額単位：百万円)

	22年12月末	22年3月末比	22年3月末	21年12月末 [決算]
	%	%	%	%
(1) 自己資本比率	9.77	0.69	9.08	10.12
Tier1比率	5.16	0.26	4.90	5.79
(2) 基本的項目 (Tier1)	134,755	8,184	126,570	122,484
(3) 補完的項目 (Tier2)	120,475	12,387	108,087	91,474
(イ) うち一般貸倒引当金	16,316	173	16,142	13,210
(ロ) うち劣後ローン(債券)残高	103,500	12,214	91,285	77,600
(4) 控除項目	-	-	-	-
(5) 自己資本 計 (2) + (3) - (4)	255,230	20,572	234,658	213,958
(6) リスク・アセット等	2,610,584	27,730	2,582,854	2,113,663
(7) 総所要自己資本額 (6) × 4%	104,423	1,109	103,314	84,546

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年12月末	22年3月末比	22年3月末	21年12月末 [決算]
	%	%	%	%
(1) 自己資本比率	9.92	0.63	9.29	10.29
Tier1比率	5.28	0.25	5.03	5.92
(2) 基本的項目 (Tier1)	136,794	7,850	128,943	123,999
(3) 補完的項目 (Tier2)	120,347	11,213	109,134	91,336
(イ) うち一般貸倒引当金	16,188	185	16,002	13,072
(ロ) うち劣後ローン(債券)残高	103,500	11,028	92,471	77,600
(4) 控除項目	-	-	-	-
(5) 自己資本 計 (2) + (3) - (4)	257,141	19,063	238,078	215,335
(6) リスク・アセット等	2,590,112	29,655	2,560,457	2,091,579
(7) 総所要自己資本額 (6) × 4%	103,604	1,186	102,418	83,663

(注) 「Tier1比率」は、自己資本のうち資本金、剰余金等により構成される基本的項目を分子として計算したものであります。

## 3. 金融再生法開示債権

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年12月末	22年3月末比	22年3月末	21年12月末 [単純合算]
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	58,652	△32,052	90,704	99,710
危険債権	52,461	△4,079	56,540	70,273
要管理債権	3,112	△1,456	4,568	6,361
合計 (A)	114,225	△37,587	151,813	176,345
正常債権	3,426,309	43,087	3,383,221	3,439,762
総与信合計 (B)	3,540,535	5,500	3,535,035	3,616,107
開示債権比率 (A/B)	3.22%	△1.07%	4.29%	4.87%
直接減額実施額	171,050	3,399	167,650	160,242

(注) 金融再生法開示債権には、貸出金の他、支払承諾見返、仮払金その他の与信性資産が含まれております。

## 4. 有価証券の評価損益

【連結】

(金額単位：百万円)

	22年12月末					22年3月末			
	連結 貸借対照表 計上額	評価損益	22年3月末比			連結 貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損
				評価益	評価損				
その他有価証券	451,261	△2,634	1,536	3,121	△5,755	447,608	△4,170	2,230	△6,401
合計	451,261	△2,634	1,536	3,121	△5,755	447,608	△4,170	2,230	△6,401
株式	12,825	△1,215	△277	409	△1,625	14,722	△937	699	△1,636
債券	396,709	521	386	1,721	△1,199	390,340	135	880	△745
その他	41,727	△1,940	1,428	990	△2,930	42,545	△3,368	651	△4,019

- (注) 1. 「その他有価証券」は、時価評価しておりますので、評価損益は、連結貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。  
 2. 有価証券のうち、その他有価証券として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第25号平成20年10月28日)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって連結貸借対照表価額としております。この結果、評価損益は22年12月末は701百万円、22年3月末は944百万円改善しております。

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年12月末					22年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価損益	22年3月末比			貸借対照表 計上額	評価損益	評価益	評価損
				評価益	評価損				
その他有価証券	451,638	△2,702	1,575	3,041	△5,744	447,945	△4,278	2,119	△6,397
合計	451,638	△2,702	1,575	3,041	△5,744	447,945	△4,278	2,119	△6,397
株式	12,801	△1,205	△269	408	△1,613	14,690	△935	697	△1,632
債券	397,194	527	383	1,727	△1,199	390,827	143	888	△745
その他	41,642	△2,025	1,461	905	△2,930	42,427	△3,486	533	△4,019

- (注) 1. 「その他有価証券」は、時価評価しておりますので、評価損益は、貸借対照表価額と取得原価との差額を計上しております。  
 2. 有価証券のうち、その他有価証券として保有する変動利付国債については、「金融資産の時価の算定に関する実務上の取扱い」(企業会計基準委員会実務対応報告第25号平成20年10月28日)を踏まえ、合理的に算定された価額をもって貸借対照表価額としております。この結果、評価損益は22年12月末は701百万円、22年3月末は944百万円改善しております。

平成22年11月12日公表の業績予想の見直しは行っておりません。  
 なお、同予想計数は以下の通りです。

<業績予想計数>

【連結】

(金額単位：百万円)

	22年度予想	21年度実績	
		21年度比	[決算]
経常収益	115,000	15,802	99,198
経常利益	5,000	44,290	△39,290
当期純利益	2,500	26,625	△24,125
連結自己資本比率	9%程度		9.08%

【単体】

(金額単位：百万円)

	22年度予想	21年度実績	
		21年度比	[決算]
経常収益	105,000	15,580	89,420
経常利益	5,000	42,779	△37,779
当期純利益	3,500	25,187	△21,687

(参考)

(金額単位：百万円)

実質業純 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	27,000	3,239	23,761
コア業純 (除く国債等債券損益)	25,000	3,880	21,120
業務純益	26,000	2,637	23,363
与信関係費用	△20,000	39,771	△59,771
単体自己資本比率	9%程度		9.29%

## (ご参考) 業容推移【単体】

## (1) 預金及び譲渡性預金残高

(金額単位：億円)

	22年3月末	21年3月末比 [単純合算]	22年12月末	22年3月末比	21年12月末比[単純合算]	
					増減額	増減率
					合 計	40,390
預金計	38,565	△93	37,473	△1,092	△2,678	△6.6%
個人預金	30,000	27	29,234	△765	△1,147	△3.7%
法人預金	8,565	△121	8,238	△326	△1,531	△15.6%
譲渡性預金	1,824	△848	1,852	28	442	31.4%

## (2) 貸出金残高

(金額単位：億円)

	22年3月末	21年3月末比 [単純合算]	22年12月末	22年3月末比	21年12月末比[単純合算]	
					増減額	増減率
					合 計	34,970
消費者ローン	17,225	900	17,518	292	486	2.8%
住宅ローン	13,815	603	14,045	230	294	2.1%
その他ローン	3,410	296	3,472	62	191	5.8%
その他貸出金	17,744	△1,818	17,558	△186	△1,274	△6.7%
中小企業等 貸出金残高	32,325	△1,045	32,467	141	△513	△1.5%
中小企業等 貸出金比率	92.4%	△0.5%	92.5%	0.1%	0.6%	—

(注) 平成22年3月1日の合併により発生した貸出金に係る時価変動額は控除しております。

## (3) 投資信託・年金保険販売額

(金額単位：億円)

	21年度 [単純合算]	20年度比 [単純合算]	22年4～12月	21年4～12月比[単純合算]	
				増減額	増減率
				合 計	1,210
投資信託	781	366	677	141	26.5%
年金保険	429	50	441	122	38.2%

## (参考) 投資信託預り資産残高

(金額単位：億円)

	22年3月末	21年3月末比 [単純合算]	22年12月末	22年3月末比	21年12月末比[単純合算]	
					増減額	増減率
					投資信託	2,593